

みまもっちのDL

スマホで防犯。

ダウンロード



No. 4

啓発パンフ

役立つ情報満載！



No. 3

県内で起こった事件・事案の詳細が共有される、県警察公式のスマートフォンアプリ「みまもっち」。最新の事件・事案はプッシュ通知され、どんな犯罪がどこで発生しているのかを、ほぼリアルタイムで確認することができます。ダウンロード・利用料金ともに無料。詳しくは、右の2次元コードからご確認ください。



「詐欺対策3ヶ条」や「ニセ電話詐欺防止チェックシート」、困った場合の連絡先を記入できる啓発シールも折り込まれた、ニセ電話詐欺啓発の「電話対応ハンドブック」。固定電話機の近くなどの目立つところに置いておくと、もしもというときに被害を防ぐ効果を発揮します。このハンドブックは、田川署・生活安全課の窓口で無料配布中。

人間関係の構築

相談できる場を！



No. 2

家族や親戚、友人、隣近所のかたなどと積極的にコミュニケーションをとり、もしものときに相談しやすい人間関係を築いておくことも、詐欺被害を防ぐことにつながります。特に高齢者のいる家庭では、こまめに会話・連絡し、詐欺の手口や対策などを話し合っておきましょう。家族にしか分からない合言葉を決めておくことも効果的です。



防止機器の設置

未然にブロック



No. 1

着信拒否・事前警告・自動録音・注意喚起の機能をもつ固定電話機「まっ太フォン」を使ったり、ご自宅の固定電話機に「特殊詐欺防止装置」を取り付けるなどで、犯人からの電話を未然にブロック。どちらも家電量販店で購入できますが、田川警察署ではこれらの機器を無料で貸出中。希望者は、田川署・生活安全課(☎42-0110)までご連絡を。



関係機関とスクラム組み ニセ電話詐欺の根絶へ

人の弱みにつけ込み大切な財産を一瞬にして奪い取る、ニセ電話詐欺。卑劣な犯罪から皆さまの大切な財産を守るため田川警察署では、全署員によるニセ電話詐欺の広報・啓発や、自治体、防犯協会、金融機関、コンビニエンスストアなど、多方面の関係機関と連携した防犯対策を講じています。

例えば、金融機関とは、平成24年に「犯罪の起きにくい社会づくりに関する協定書」を締結し、一定額以上の高額出金・送金時に警察へ通報してもらうシステムを構築。コンビニエンスストアには、高額なギフト券を購入しようとする人への事前の声かけにご協力いただいています。

これらの取組などが功を奏し、昨年中は、福岡県内で717件(前年比+153件/27%増)、2億3096万円(前年比+7067万円/44%増)の被害を未然に防ぐことができました。しかし、認知件数・被害総額は年々増加傾向にあります。今後も、福岡県警察・田川警察署では、ニセ電話詐欺の被害防止に向け、対策を強化していきます。



自分や家族、すべての人が被害にあわないを目指して

私たち福岡県警察・田川警察署も対策を強化していきますが、ニセ電話詐欺に直面したときに、自分の身を守ることができるのは、犯人と直接対峙する皆さまが自身です。「次は自分が狙われるかもしれない。だから、自分の身は、自分で守る」という意識で、日頃からできる事前の防犯対策に取り組んだり、警察や自治体などから発信される最新情報を常に確認し、もしもの時に「これは詐欺かもしれない」という疑いの目をもてるようにしましょう。

なお、現在、筑豊地区で「アポ電(事前に個人情報や資産状況などを電話で確認して犯行に及ぶ)」の詐欺が多発しているように、ニセ電話詐欺は、特定の地域に集中して発生するという特徴もあります。詐欺に関する情報を得たときは、自分の中だけに留めず、家族や親戚、友人、隣近所のかたなど、できるだけ多くの人へ拡散し、地域全体で詐欺被害を防止していくことも大切です。すべての人がニセ電話詐欺の被害にあわない、安心安全な田川地区を実現するために、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

「詐欺かも?」と思ったら迷わず相談・連絡を!

詐欺と疑わしき事態に遭遇したときは、焦って判断したり、行動したりせず、身近な人や警察に相談してください。また、既に被害にあい、お金を奪われた場合は、躊躇せず早急に通報するか田川署へご連絡ください。全力で捜査にあたります。

緊急時 ☎110 相談時 ☎#9110
田川警察署 ☎0947-42-0110



転ばぬ先の防犯

ニセ電話詐欺の手口が巧妙で複雑化する現在、騙されないためには、事前の備えが必要不可欠です。被害者にならないために、日頃からできる防犯対策とは何か。田川警察署・副署長の大場孝志警視へお話を伺いました。

